

報道関係者各位

韓国の伝統紙「韓紙」紹介展 今日 韓紙

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

韓国文化院では、日本の方々に韓国の伝統紙である「韓紙（ハンジ）」をより深く知っていただくため、韓紙の特徴や様々な使い方、伝統工房などを紹介する企画展「今日 韓紙」展を開催いたします。

「韓紙」は「韓国の紙」を意味し、楮（こうぞ、クワ科の落葉低木）を主な原料とし、伝統方式で漉いた紙のことです。日本の「和紙」も同じく楮を主な原料としていますが、その漉き方がそれぞれ異なります。

韓国では「ウエバルトウギ」という漉き方で作りますが、韓紙ノルトウル（箕桁、紙料を掬う道具）の角をジトン（漉き舟、紙料が入れてある大きい箱）の上部か天井に1本の紐で吊るし、紙料を上下左右に動かして漉く伝統方式で、枠がないというのが特徴です。

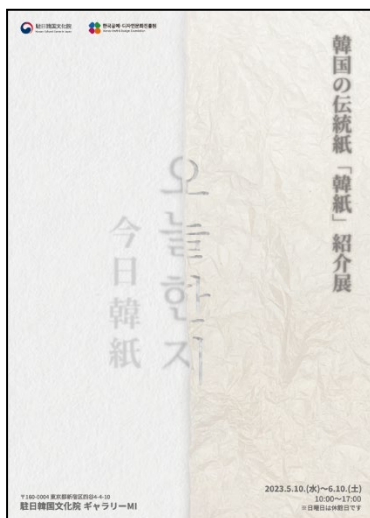
日本は、まず箕桁に枠があるのが特徴で、漉き方は大きく2種類あります。「溜め漉き」は箕桁で紙料を汲み上げ余分な水分が落ちていくように置く方式で、「流し漉き」は箕桁で紙料を上下左右に動かして漉く方式です。箕桁の吊るし方と枠の有無が韓紙と和紙で見られる大きな違いといえます。

本展示会ではこのように作られた韓紙と共に韓国全国にある19カ所の工房についてもご紹介します。展示期間中には韓紙に直接触れてみることでできる体験コーナーも設ける予定です。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。

資料のご依頼、取材のお申し込みは、韓国文化院(03-3357-5970)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

【イベント概要】



■会 期：2023年5月10日（水）～6月10日（土）10:00～17:00

※開幕式：2023年5月10日（水）14:00～15:30

※休館日：日曜日

■会 場：韓国文化院ギャラリーMI ◆入場無料

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10

■アクセス：地下鉄メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」一番出口より徒歩3分

■展示内容：韓国全国にある韓紙工房19カ所と工房で作られた伝統韓紙、現在のライフスタイルが反映されて変化した韓紙の新しい姿、韓紙の職人の漉き方及びインタビュー映像など約40点を展示

■主 催：駐日韓国大使館 韓国文化院、韓国工芸・デザイン文化振興院

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp

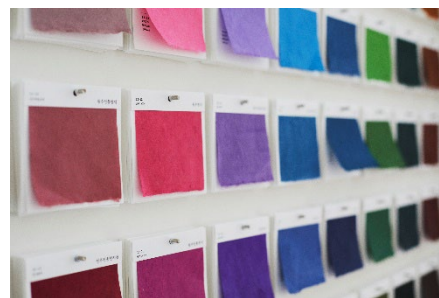
イベント担当 河聖煥（ハ・ソンファン） / 広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン）

【展示構成】

韓紙の紙種の紹介

韓国全国にある伝統韓紙工房 19 か所を紹介し、工房で生産された韓紙サンプルに直接触れることのできる空間を設けます。

各サンプルには工房名、主な原料、生産方式などが紹介されています。



韓紙工房の紹介



韓国の国家指定無形文化財「韓紙匠」保有者（人間国宝）を含め、韓国の代表的な伝統韓紙工房を紹介し、韓紙の原料、漉き方について紹介する映像を上映します。

韓紙体験プログラム

韓紙に直接触れていただける韓紙体験キットを用意しました。

韓国の代表的な発酵食品のキムチをモチーフにしたモビールを作ることができます。

- キット内容：アルタリキムチ（ミニ大根キムチ）モビール
- 所要時間/参加費：約 40 分、無料
- 参加方法：事前申込・持参物不要。展示期間中、会場へお越しください。

その他に韓紙しおり作り体験と自由に押すことのできる韓紙工房のハンコを用意しています。会期中には、どなたでもご参加いただけます。

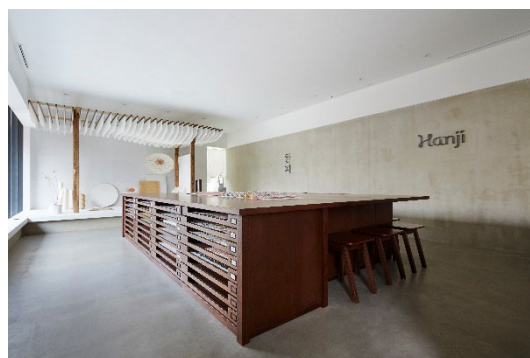


【韓紙文化産業センター】

韓紙文化産業センターは韓国工芸・デザイン文化振興院が運営する空間で、韓国伝統遺産の韓紙の優秀性を紹介し、より身近に感じていただくために 2020 年に設立されました。

韓国のみならず世界でも広く使われることを目的とし、韓国全国にある 19 か所の伝統韓紙工房をサポートしています。

韓紙分野の専門家たちと協力し、生産・流通の活性化を図ると共に、センター内で企画展、体験プログラム、セミナー、説明会などの行事を行い、韓紙に対する理解を深めるための活動を続けています。



「お問い合わせ：韓国文化院 河・趙 ☎03-3357-5970 ✉ postmaster@koreanculture.jp »